

プロポーザル結果について

令和7年5月20日付で募集したプロポーザルについて、次のとおり特定しましたので、お知らせします。

令和7年8月29日

富山市上下水道事業管理者 前田 一士

記

- 1 業務名
富山市上下水道総合オンラインシステム構築業務委託
- 2 受託候補者の特定日
令和7年8月20日
- 3 参加者（1者）
株式会社インテック 行政システム事業本部
- 4 選考委員会委員氏名
委 員 長 富山市上下水道事業管理者 前田 一士
副委員長 富山市上下水道局次長 高橋 祐子
委 員 富山市企画管理部次長 森川 知俊
委 員 富山市企画管理部情報企画監 小倉 康男
委 員 富山県地方創生局市町村支援課長 小守 潤
- 5 評価基準及び評価結果一覧表
別紙のとおり
- 6 特定した参加者名
株式会社インテック 行政システム事業本部
- 7 提案額
317,900,000円（消費税及び地方消費税を含む。）

（担当）上下水道局契約出納課管財契約係
（電話）076-432-8518 （FAX）076-432-8635
（メール）suidoukeisui@city.toyama.lg.jp

評価基準及び評価結果一覧表

業務名:富山市上下水道総合オンラインシステム構築業務委託

評価項目					評価基準	評価	
区分	大分類		中分類			配点	陳インテック 行政システム 事業本部
	順番	評価項目	順番	評価項目			
業務遂行に関する評価	1	システム導入に係る基本方針	1-1	ペーパーレス化	・紙媒体での事務プロセスを見直し、電子化、システム化を行うという本市の考えに沿って提示されているか。	50	38
			1-2	業務効率化	・パッケージシステムでの利用を前提とし、水道局事務の見直しを図ることDXの促進を図る様な提案がされているか。	50	34
			1-3	上下一体構築	・富山市上下水道事業として上水事業・下水道事業の相互事業で一体効率化を図れるようなシステム構築の構成及びそれに伴う事務効率率点またはお客様サービスにおける効果が具体的に提示されているか。	250	180
			1-4	印刷発送業務	・印刷データの授受方法について具体的に提示されているか。 ・印刷データの授受から印刷、発送までの作業スケジュールが具体的に提示されているか。 ・各種帳票等の作成・印刷及び発送業務について、制限事項は許容できる範囲(市民サービスに重大な影響を与えない範囲)で提示されているか。	50	40
	2	導入プロジェクト管理	2-1	プロジェクト体制	・本業務は、上下水道事業に係る業務が複数関連するプロジェクトであるため、適切な要員が配置され、事業者と水道局の役割分担、スケジュール、作業内容等のプロジェクト体制が具体的に提示されているか。	100	72
			2-2	プロジェクト効率	・プロジェクト全体を通して職員の作業負荷軽減や費用削減等を考慮した提案が具体的に提示されているか。	50	34
			2-3	データ移行	・現行システムからのデータ移行作業に対する移行方針、移行方法、作業内容、留意点が具体的に提示されているか。	100	64
	3	導入に係るサポート	3-1	BPR支援	・上下水道総合オンラインシステムの更新に際し、検討が必要になるであろう既存業務の見直し(BPR:業務プロセス再構築)に対し、十分な支援体制がとられているか。	50	36
			3-2	研修	・職員が効率的に操作方法等を習得できる研修方法等が提示されているか。 ・システム稼働後も職員の操作習熟のための継続的な支援体制がとられているか。	50	36
	システムに関する評価	4	システム要件	4-1	機能要件	・仕様書で求める機能要件を満たしているか。	200
4-2				操作性	・専門的知識を必要としない優れた操作性及びユーザインタフェースが具備されているか。(全体に統一感があり利用しやすい画面レイアウトであることや入力ミスを防ぐ警告画面が視覚的に分かりやすく出現する、画面遷移しても違和感なく直感的に操作できる等。)	100	68
4-3				データ連携	・各業務システム間で行っているデータ連携について整理され、事務の効率化に繋がる様なデータ連携が図られているか。	50	38
5		セキュリティ要件	5-1	セキュリティ対策	・物理的、技術的な面からのセキュリティ上の脅威と対策など、多面的なセキュリティ対策が具体的に提示されているか。	100	72
			5-2	障害対策・障害対応	・データ保護、バックアップ等の障害対策が明確であり、業務継続性の高いシステム構成が具体的に提示されているか。 ・障害時対応について役割分担が整理され、スムーズな連携がとれる体制が具体的に提示されているか。 ・システムダウン時の対策が明確になっており、具体的な回避策、解決策が提示されているか。	100	68
運用・保守に関する評価		6	運用・保守要件	6-1	システム構成・信頼性	・いつでも使える信頼性の高いシステムとなっているか。 ・運用に係るサービスレベルが適切に設定され、具体的に提示されているか。	100
	6-2			サポート体制	・問い合わせ窓口が一元化される等、安定したシステム稼働ができる運用体制となっているか。 ・特に稼働初年度は問い合わせが殺到することを想定した十分な体制となっているか。	100	72
	7	拡張性	7-1	制度改正及びバージョンアップ対応	・運用開始後の全国的な制度改正やOS・ブラウザ等のバージョンアップ対応について、考え方(パッケージ対応、保守対応、追加費用の切り分け等)が提示されているか。	50	32
独自提案	8	独自提案		・仕様書等で水道局が要求していない事項で、市民サービス向上や職員負荷軽減等を実現できる有益な提案が提示されているか。	100	60	
価格評価	9	価格	9-1	導入費用	・導入に要する費用 [評価点a]＝60×(全提案者中の最低見積価格÷当該提案者の見積価格) ただし、a≧48…60点、48>a≧36…48点、36>a≧24…36点、24>a≧12…24点、12>a…12点とする。	300	300
			9-2	運用費用	・運用に要する費用 [評価点a]＝60×(全提案者中の最低見積価格÷当該提案者の見積価格) ただし、a≧48…60点、48>a≧36…48点、36>a≧24…36点、24>a≧12…24点、12>a…12点とする。	300	300
評価項目の審査のためパッケージソフトウェアデモンストレーション審査を実施し、機能要求回答書への正誤判定を行うものとする。						2250	1764
<評価基準付帯条件> (1)本プロポーザルにおける受託候補者は、各委員による評価の合計が1,350点以上(満点の6割以上)である提案者のうち、評価の合計の最も高い者を選定する。 (2)ただし、評価の合計が同値の者が複数いる場合は、最も高い評価を得た委員数の多い提案者を受託候補者として選定する。 (3)上記の選定においても受託候補者が特定しないときは、抽選とする。 (4)一者のみ参加のときは、あらかじめ決定した選定最低基準点を満たしていれば受託候補者として特定することとする。 (5)プレゼンテーション審査に進む前に機能要求に係る評価項目の審査のためパッケージソフトウェアデモンストレーション審査を実施し、機能要求回答書への正誤判定を行うものとする。							